

# マンスリーレポート

3月の県内経済は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

## 1. 平成24年3月の県内経済

| 項目      | コメント  | 景況判断 |     |
|---------|---|------|-----|
|         |   | 変化方向 | 水準  |
| 県内経済の景況 | 県内経済は、生産活動や住宅投資が鈍い動きながらも、公共投資や消費動向を中心に持ち直しの動きが続いている。                  | ↗    | ☁   |
| 消費動向    | 大型小売店販売額は、飲食料品と衣料品を中心に前年を上回り、6ヵ月連続で前年比で増加した。また、新車登録台数も、6ヵ月連続で前年を上回った。 | ↗    | ☀/☁ |
| 公共投資    | 公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額、保証金額とも8ヵ月連続で前年を上回った。                              | ↗    | ☀   |
| 設備投資    | 民間・非居住用建築着工は、工事費予定額と床面積は3ヵ月連続で前年を上回ったが、棟数は5ヵ月ぶりで前年を下回った。              | ↗    | ☁/☔ |
| 住宅投資    | 新設住宅着工戸数は、貸家が前年を下回ったものの、持家および分譲が前年を上回ったことから、合計では2ヵ月ぶりで前年を上回った。        | ⇒    | ☁/☔ |
| 生産活動    | 鉱工業生産指数は、前年同月比でマイナスとなり、前年の生産水準を依然下回っているものの、前月比ではプラスとなり、持ち直しが窺われる。     | ⇒    | ☁/☔ |
| 雇用動向    | 有効求人倍率は、季節調整値が前月比、原数値が前年比でそれぞれ上昇した。一方、雇用保険受給者実人員は震災直後で急増した前年同月を下回った。  | ↗    | ☁   |

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗：改善、⇒：不変、↘：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。但し、「変化方向」が改善または悪化したからといって、「水準」が必ずしも変更するとは限らない。尚、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は2月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

|   |   |   |  |   |
|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |
| 晴れ  | 晴れ一部曇り  | 曇り  | 曇り一部雨  | 雨   |

良

悪



【県内経済動向の概要】

|      | 項 目                         | 前 年 同 月 比 |        |        |       |       |       |
|------|-----------------------------|-----------|--------|--------|-------|-------|-------|
|      |                             | 23年10月    | 11 月   | 12 月   | 24年1月 | 2 月   | 3 月   |
| 消費動向 | 大型小売店販売額（全店舗）               | 3.2       | 0.8    | 2.6    | 1.8   | 5.2   | 34.4  |
|      | 乗用車新車登録台数                   | 31.8      | 31.6   | 25.7   | 39.7  | 34.2  | 189.4 |
| 公共投資 | 公共工事前払保証取扱保証請負金額            | 55.8      | 40.6   | 86.3   | 205.7 | 230.8 | 304.9 |
| 設備投資 | 建設着工工事費予定額（民間・非居住用）         | ▲ 3.1     | ▲ 32.5 | 67.0   | 42.2  | 94.9  | —     |
| 住宅投資 | 新設住宅着工戸数                    | ▲ 10.3    | ▲ 9.8  | ▲ 13.0 | 21.7  | ▲ 0.2 | 21.3  |
| 生産活動 | 鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>   | ▲ 4.2     | ▲ 10.8 | ▲ 10.6 | ▲ 3.9 | ▲ 1.1 | —     |
| 雇用動向 | 有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup> | 0.24      | 0.26   | 0.27   | 0.27  | 0.31  | 0.35  |
|      | 雇用保険受給者実人員                  | 66.8      | 51.4   | 36.2   | 24.9  | 11.4  | ▲ 5.2 |

注1 原指数

|      | 項 目                         | 前 月 比  |        |        |        |        |        |
|------|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      |                             | 23年10月 | 11 月   | 12 月   | 24年1月  | 2 月    | 3 月    |
| 消費動向 | 大型小売店販売額（全店舗）               | 8.6    | ▲ 2.5  | 29.1   | ▲ 14.6 | ▲ 12.8 | 10.1   |
|      | 乗用車新車登録台数                   | ▲ 11.0 | 4.6    | ▲ 22.5 | 36.3   | 17.2   | 61.2   |
| 公共投資 | 公共工事前払保証取扱保証請負金額            | ▲ 12.2 | ▲ 14.7 | 12.9   | ▲ 31.1 | 9.1    | 159.4  |
| 設備投資 | 建設着工工事費予定額（民間・非居住用）         | 19.0   | ▲ 25.5 | 24.7   | ▲ 36.5 | 33.2   | —      |
| 住宅投資 | 新設住宅着工戸数                    | 20.7   | 19.8   | ▲ 20.5 | 18.6   | ▲ 33.5 | 26.0   |
| 生産活動 | 鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>   | 1.9    | ▲ 5.9  | 4.8    | 6.7    | 1.2    | —      |
| 雇用動向 | 有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup> | 0.00   | 0.03   | 0.03   | 0.00   | 0.03   | 0.05   |
|      | 雇用保険受給者実人員                  | ▲ 9.2  | ▲ 13.1 | ▲ 12.1 | ▲ 11.6 | ▲ 13.8 | ▲ 11.7 |

注2 季節調整値

## 2. 県内経済動向

### 消費動向

**大型小売店** 3月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、飲食料品と衣料品を中心に前年を上回ったことなどから、合計で192億68百万円（前年同月比+34.4%）と6ヵ月連続で前年を上回った。また、既存店ベースでも、前年同月比+32.8%と前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

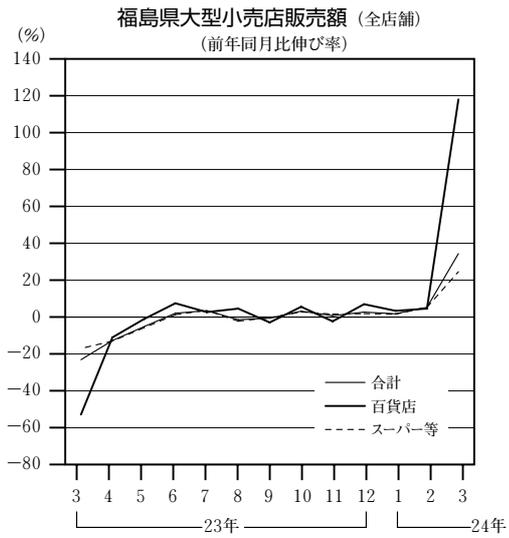
業態別にみると、百貨店は、飲食料品と衣料品が前年を上回ったことなどから、全店舗ベースの合計では32億84百万円（前年同月比+118.0%）と4ヵ月連続して前年比で増加した。また、既存店ベースでも前年同月比+118.0%となった。

スーパーも、飲食料品と衣料品が前年を上回ったことなどから、全店舗ベースの合計では159億85百万円（同+24.6%）と6ヵ月連続で前年を上回った。また、既存店ベースでも、前年同月比+22.5%となった。

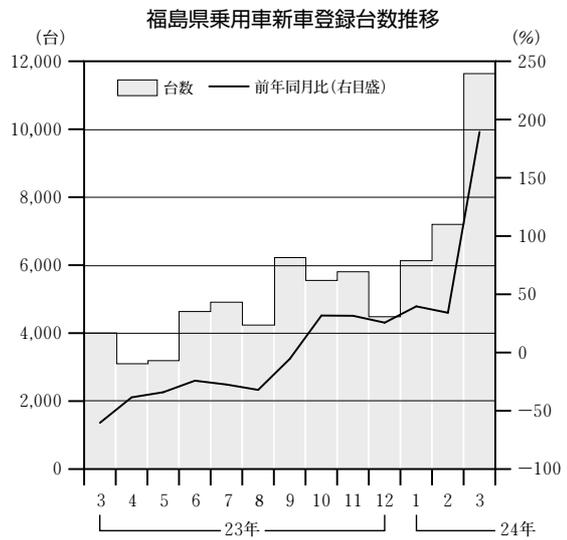
**乗用車販売** 3月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で11,680台（前年同月比+189.4%）となり、震災直後の昨年3月が大きく落ち込んだことから6ヵ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車は3,557台（同+225.4%）、小型車は4,414台（同+175.7%）、軽乗用車は3,709台（同+176.4%）とそれぞれ6ヵ月連続で前年を上回った。

3月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で17,973台（前年同月比+61.8%）と12ヵ月連続で前年を上回った。車種別にみると普通車は5,194台（同+75.9%）と11ヵ月連続、小型車は6,699台（同+61.7%）、軽乗用車は6,080台（同+51.6%）と12ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。

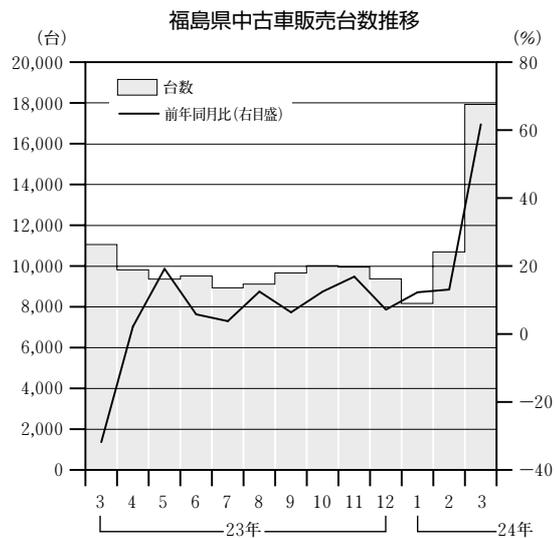
**消費者物価指数** 3月の消費者物価指数は、総合



（資料：経済産業省）



（資料：㈱日本自動車販売協会連合会福島県支部）



（注）軽自動車は名義変更台数含む  
資料：㈱日本自動車販売協会連合会 福島支部  
㈱全国軽自動車販売協会連合会

指数（福島市、平成22年=100）でみると、100.7と前月比で+0.7%、前年同月比で+1.3%となった。

費目別にみると、「被服及び履物」が99.0（前月比+2.1%）、「交通通信」が103.6（同+1.7%）などとなり、7費目が前月比で上昇した。一方、「家具・家事用品」が98.8（同△0.5%）となり、前月比で下降した。

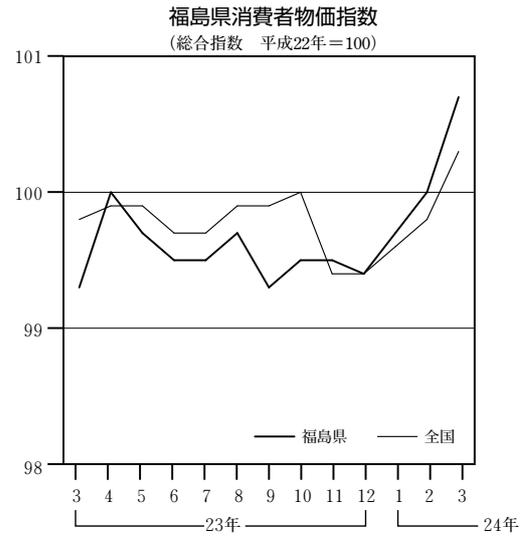
**家電量販店** 3月の家電量販店の売上高は、白物家電を中心に買替需要がみられたことなどから、震災が発生した昨年3月の約3倍で、一昨年3月を10%ほど上回った。

**ホームセンター** 3月のホームセンターの売上高は、低温により灯油や暖房器具などが前年を上回ったことから、合計でも前年比でわずかに増加した。

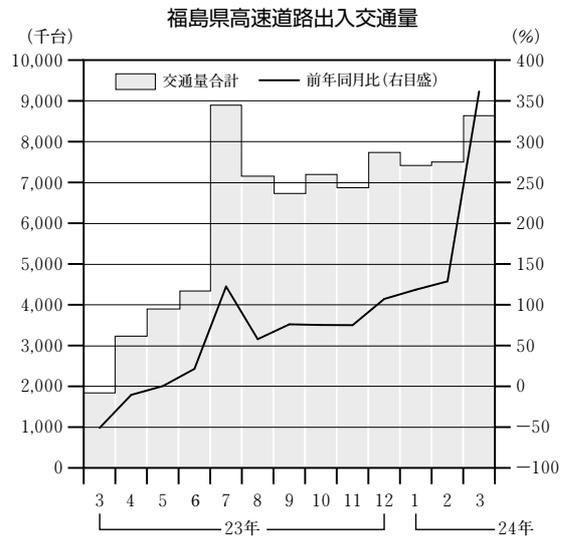
**旅行** 2月の旅行取扱額実績は、国内旅行がスポーツ競技の大会関連や行政主催の団体旅行申込みにより、前年を上回ったものの、海外旅行が前年を下回ったことから、合計でも前年比で減少となった。

**高速道路** 3月の県内自動車道出入台数は、被災証明書および罹災証明書による利用料無料措置の影響が大きく、合計で8,686,469台（前年同月比+361.6%）と11ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は4,878,006台（同+321.4%）と12ヵ月連続で前年を上回った。また、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は770,092台（同+511.8%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は1,346,513台（同+442.7%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,691,858台（同+383.0%）となり、それぞれ10ヵ月連続で前年を上回った。

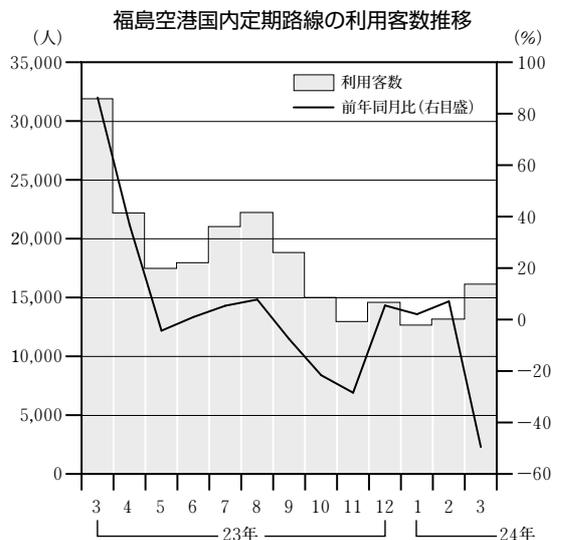
**福島空港** 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、16,196人（前年同月比△49.5%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は6,787人（同△35.7%）、大阪便は9,409人（同△4.3%）となった。



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)

一方、国際定期路線については、ソウル便ならびに上海便とも、全便運休により、利用実績はなかった。

## —— 投資動向 ——

**公共工事** 3月の公共工事前払保証取扱は、件数が679件（前年同月比+132.5%）と8ヵ月連続で前年を上回った。請負金額は460億76百万円（同+304.9%）、保証金額は212億39百万円（同+311.6%）となり、それぞれ8ヵ月連続で前年を上回った。また、年度累計（2011年4月～2012年3月）では、件数が7,513件（前年同期比+24.1%）、請負金額が2,454億19百万円（同+35.0%）、保証金額が1,134億31百万円（同+64.6%）となっている。3月の主な発注者別請負金額をみると、国が185億80百万円（同+326.6%）、県が143億8百万円（同+245.9%）、市町村が121億29百万円（同+377.8%）となった。

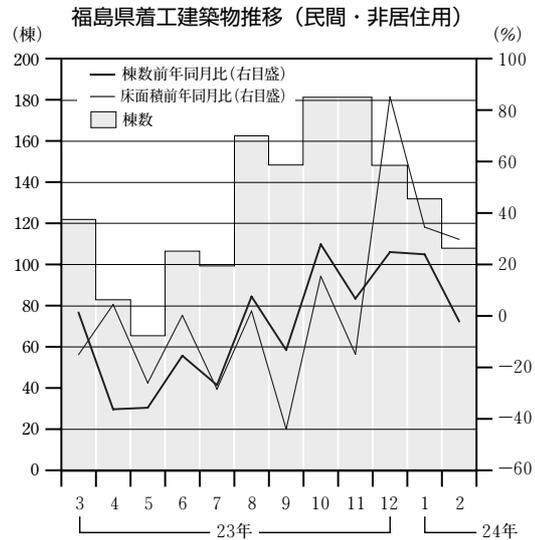
**設備投資** 2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が109棟（前年同月比△1.8%）と5ヵ月ぶりで前年を下回った。また、床面積は40,689㎡（同+30.1%）、工事費予定額は66億43百万円（同+94.9%）となった。

2月の建築物確認件数（計画変更を除く）は702件（同+25.8%）と3ヵ月連続で前年を上回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は132件（同+36.1%）と5ヵ月連続で前年を上回った。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は570件（同+23.6%）と2ヵ月連続で前年を上回った。「構造計算適合性判定合格件数」は22件となり、前月比で10件増加した。

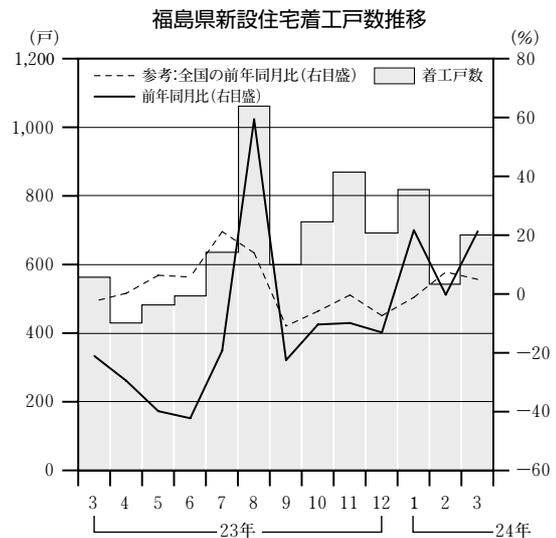
建築物着工の先行指標である2月の建築物申請件数は、710件（同+27.0%）と3ヵ月連続で前年を上回った。建築物別にみると、1～3号建物は134件（同+35.4%）と2ヵ月ぶりで前年を上



(資料：東日本建設業保証(株))



(資料：国土交通省)



(資料：国土交通省)

回った。4号建物は576件（同+25.2%）と3ヵ月連続で前年を上回った。「構造計算適合性判定申請件数」は13件となり、前月比で7件減った。

**住宅建設** 3月の県内新設住宅着工戸数は、689戸（前年同月比+21.3%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」は396戸（同+38.5%）と3ヵ月連続、「分譲」は54戸（同+107.7%）と6ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。一方、「貸家」は239戸（同△6.6%）と3ヵ月ぶりで前年を下回った。

## —— 生産活動 ——

**鉱工業生産指数** 2月の鉱工業生産指数は、91.5（季節調整値）で前月比+1.2%と3ヵ月連続で前月を上回ったが、原指数は88.9で前年同月比△1.1%と12ヵ月連続で前年を下回った。

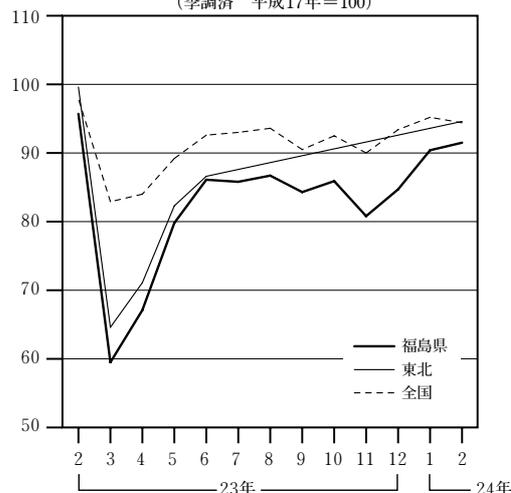
業種別の季節調整値をみると、「印刷業」（前月比+16.3%）、「精密機械工業」（同+11.4%）など10業種で上昇し、「鉱業」（同△10.3%）など10業種で下降した。

※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3%の企業の生産額は0として処理している。

**化学** 3月の食品包装フィルム用合成樹脂の生産は、家庭用が国内向け、業務用が中国向けを中心にほぼ横ばいで推移しており、総体では前年並みの水準を確保した。また、高性能樹脂は、エレクトロニクス向けの受注がやや減少しているものの、エコカー向けの堅調な受注を受けてフル生産を続けている。一方、バリウム化合物（電子部品原料）や酸化チタン（塗料原料）は、薄型テレビや自動車の減産による影響などから、引き続き計画を下回る生産水準となった。

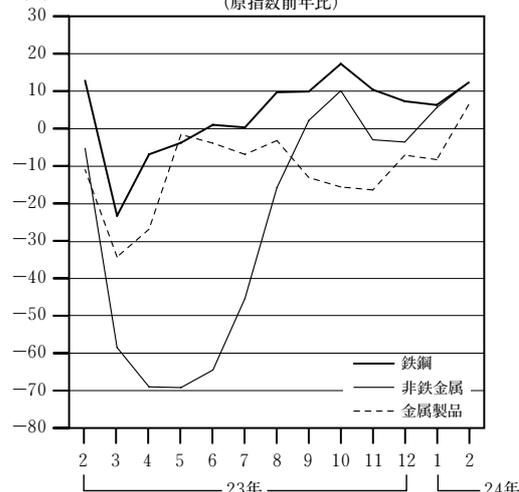
**鉄鋼・金属** 3月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材がほぼ前年並みの水準を確保したが、半導体向け電子材は、円高と低調な欧米経済の影響、

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）  
（季調整 平成17年=100）



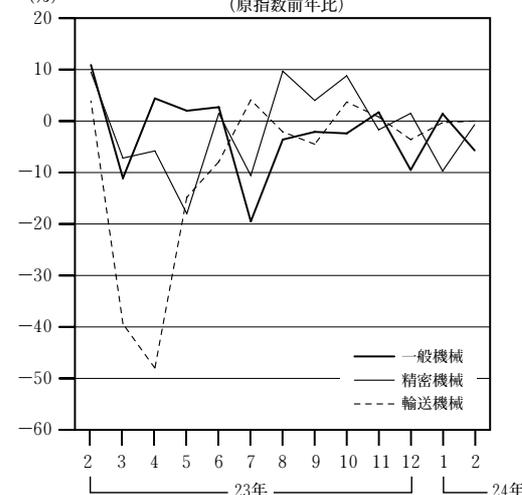
（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

新興国の製品との競合などから、依然として前年水準を下回り、全体でも前年を5%程度下回る水準となった。建機用鋳造品は、アジア諸国やオーストラリア、アメリカ向けの堅調な受注を背景に前年を大きく上回る生産となった。一方、陸船用バルブは、国内の設備投資抑制と円高の影響から、前年を20%程度下回る生産となった。

**輸送用機械** 3月の鋳造品は、トラック向けがインドネシアやタイなどの安定した受注を確保しており、前年を大きく上回る生産となった。また、カーナビおよびカーオーディオは、タイの洪水による影響がほぼ解消されたことなどから、前年および前月を上回る生産水準となった。一方、オイルシールは前年並みの生産を続けた。

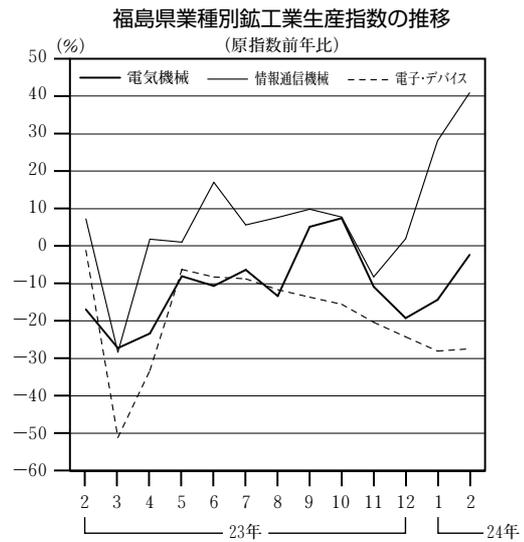
**電気機械** 3月の配電盤および自動車モーターは、前年を上回る生産水準となった。一方、変圧器は、前年を20%以上下回る生産となった。

**情報通信機械** 3月のマイクロ波通信機器は前年並みの生産となったが、モバイル基地局は国内向けの受注量が増加したため、前年を上回る生産が続いた。

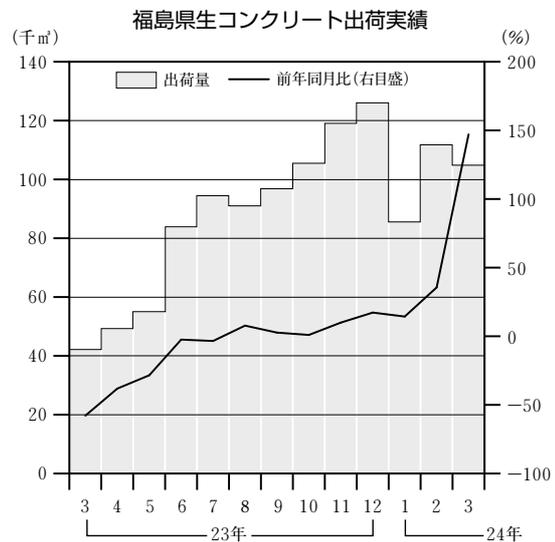
**電子部品・デバイス** 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、車載品向けが円高の影響などから前年を下回ったものの、AV・ゲーム機・家電および産業機器向けが前年を上回り、前月比ではほぼ横ばいだが、震災直後の前年同月と比較すると2倍程度となった。

**精密機械** 3月の医療用内視鏡の生産は、国内向け製品の受注量が横ばいだったものの、欧米向け高付加価値新製品の受注量が増えたことなどから、前年比、前月比とも30%程度のプラスとなった。一方、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、円高と欧米経済の停滞による影響から、前年を下回る生産となった。

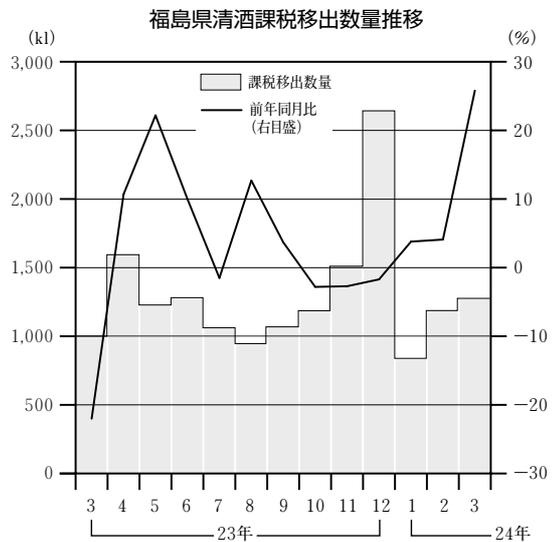
**紙・紙加工品** 3月のダンボールの生産は、タイの洪水の影響により、生産が停滞している企業からの受注量が減少したが、国内に生産を移管



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)

した企業からの受注もあり、全体では計画並みの水準となった。また、ノーカーボン紙および感熱紙、インクジェット紙とも、国内需要の冷え込みと円高による輸入品との競合、在庫調整の影響などから、震災直後の昨年3月とほぼ同水準の生産となった。

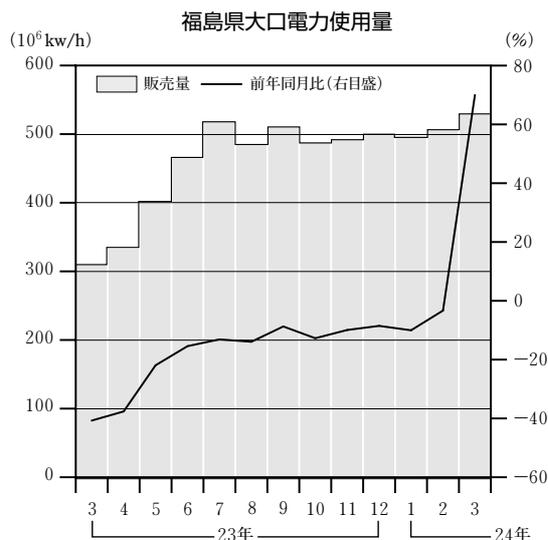
**窯業・土石** 3月の生コンクリート出荷量は、全体で105,491m<sup>3</sup>（前年同月比+147.1%）と8ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、民需は、県中地区の高速道路舗装工事、白河地区の物流倉庫新築工事、いわき地区の火力発電所増設工事など、6地区すべてが前年を上回ったため、合計でも前年比で+156.5%となった。また、官公需も、いわき地区の岸壁・湾岸道路復旧工事や会津地区の道路・橋梁工事、相双地区の海岸保全施設整備工事など、6地区すべてが前年を上回り、合計では同+158.9%となった。

**清酒** 3月の清酒移出数量は、1,284kl（前年同月比+25.8%）と3ヵ月連続で前年を上回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が505kl（同+57.8%）と12ヵ月連続、一般酒（特定名称酒以外の酒）が779kl（同+11.2%）と7ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。

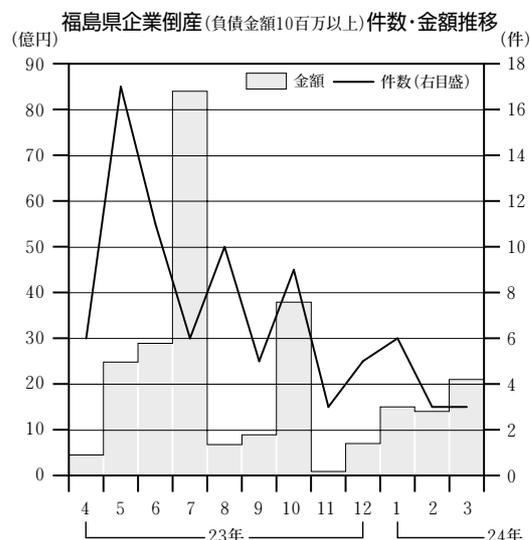
**化合繊維物** 3月の化合繊維物は、自動車向け工業用資材の在庫調整が一巡したものの、ナイロンが円高により海外からの受注量が引き続き減少していることなどから、総体では震災直後の昨年3月とほぼ同水準の生産高となった。

**ニット** 3月のニットは、春夏物サンプルを中心とした生産となり、前月とほぼ横ばいながらも、復旧支援の受注により高水準となった昨年3月と比べると半分程度の生産となった。

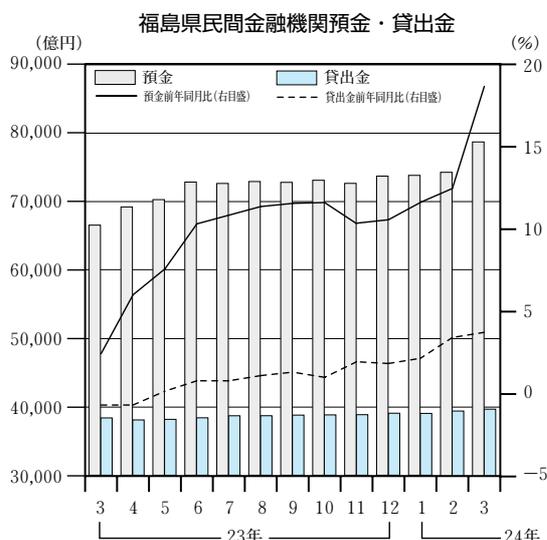
**大口電力** 3月の大口電力販売量は、531百万kw/h（前年同月比+70.5%）と震災が発生した昨年の反動から13ヵ月ぶりで前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で138百万kw/h（前年同月比+166.3%）、「電気機械」で



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)

86百万kw/h（同+29.6%）、「輸送用機械」で61百万kw/h（同+50.9%）、「化学」で48百万kw/h（同+88.8%）、「一般機械」で26百万kw/h（同+34.6%）、「紙・パルプ」で14百万kw/h（同+111.9%）となっている。

## —— 企業倒産 ——

**企業倒産** 3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が3件（前年同月比△57.1%）、負債総額が20億50百万円（同△76.5%）と件数、負債総額とも2ヵ月ぶりで前年を下回った。また、業種別では、サービス業、製造業、建設業が各1件ずつとなった。

## —— 金融動向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の3月末の預金残高は、7兆8,797億円（前年同月比+18.5%）と61ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆9,771億円（同+3.7%）と11ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 3月の保証承諾は、件数が2,272件（前年同月比+87.5%）、保証金額が311億76百万円（同+121.2%）となった。また、3月末日現在の保証債務残高は、件数51,389件（同+22.0%）、金額5,227億50百万円（同+52.4%）となった。一方、3月中の代位弁済は、件数が39件（同△67.5%）、金額が3億74百万円（同△72.4%）となった。

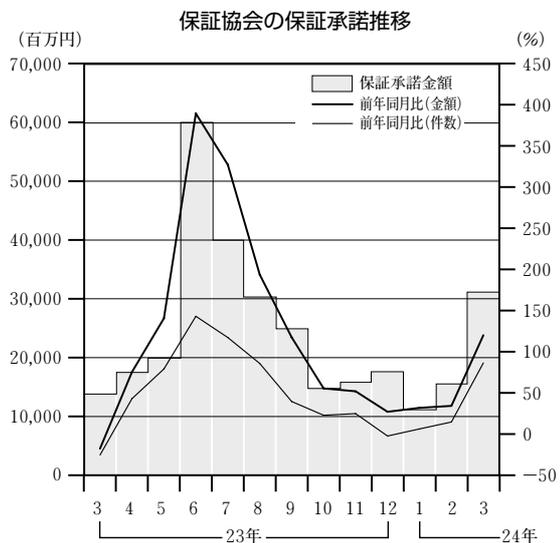
## —— 雇用動向 ——

**雇用動向** 3月の新規求職申込件数（原数値）は12,095件（前年同月比+13.0%）と7ヵ月ぶりで増加となり、新規求人数（原数値）は15,510人（前

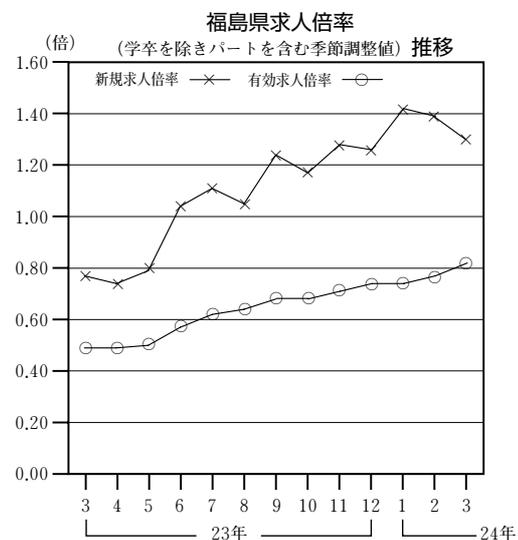
年同月比+90.2%）と震災復旧関連により12ヵ月連続で前年を上回った。

3月の新規求人倍率は、季節調整値が1.30倍（前月比△0.09ポイント）、原数値が1.28倍（前年同月比+0.52ポイント）となった。また、3月の有効求人倍率は、季節調整値が0.82倍（前月比+0.05ポイント）、原数値が0.85倍（前年同月比+0.35ポイント）となり、原数値は24ヵ月連続で上昇した。

一方、3月の雇用保険受給者実人員は9,304人と引き続き高水準ながらも、震災直後で急増した昨年3月と比較すると△5.2%となった。



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)